

令和元年度 第2回 松山市子ども・子育て会議

地域子育て部会 会議録

1. 日時

令和元年7月2日（火）10:00～11:30

2. 場所

松山市青少年センター 3階 大ホール

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員（8名）

井上もと子、河内茜、恒吉和徳、友川礼、堀田真奈、山下純子、和田真由子、渡部万美江
（五十音順、敬称略）

(2) 事務局

子育て支援課、保育・幼稚園課、子ども総合相談センター事務所、健康づくり推進課、障がい福祉課、学校教育課、地域学習振興課、教育支援センター事務所、保健福祉政策課

4. 傍聴の可否

可（傍聴者1名）

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 確認事項

①「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価について

(3) 報告事項

①「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成30年度の実施状況について

1.第4章～施策の展開～部分

2.第5章～子ども・子育て支援の新たな取り組み～部分

(4) 審議事項

①「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」第5章

～子ども・子育て支援の新たな取り組み～提供区域について

(5) 説明事項

①「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」第5章

～子ども・子育て支援の新たな取り組み～量の見込みと確保の内容について

(6) その他

①連絡事項等

(7) 閉会

6. 配布資料

- ・部会次第
- ・配席図
- ・松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会委員名簿
- ・資料 1 「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価について
- ・資料 2 「松山市子ども子育て支援事業計画」の平成 30 年度実施状況
～第 4 章「施策の展開」部分～
- ・資料 3 「松山市子ども子育て支援事業計画」の平成 30 年度実施状況
～第 5 章「子ども・子育て支援の新たな取り組み」部分～
- ・資料 4 「第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画」第 5 章
～子ども・子育て支援の新たな取り組み～提供区域について
- ・資料 5 「第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画」第 5 章
～子ども・子育て支援の新たな取り組み～量の見込みと確保の内容について

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、令和元年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会を開会させていただきます。

本日の部会につきましては、委員総数 10 名のうち、8 名のご出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 8 条第 4 項の規定により準用する第 6 条第 2 項の規定により、本部会が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

本来であれば、部会長に進行をお願いするところですが、新任委員の紹介をさせていただきますので、引き続き進行役を務めさせていただきます。

本会議の委員の皆さまの任期は、令和 3 年 3 月 31 日までとなっておりますが、金谷委員が、小・中学校 P T A 連合会 副会長を退任されたことに伴い、本会議委員も退任されました。後任として、松山市小・中学校 P T A 連合会 学校教育部理事の河内茜様が委員に就任されましたのでご紹介いたします。

・河内委員

河内です。よろしくお願いします。

・事務局

所属部会については、事前に三浦会長より指名を行っていただき、前任の金谷委員に引き続き地域子育て部会になりますので、ご報告いたします。

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第 8 条第 4 項の規定により準用する第 6 条第 1 項の規定により、これより先は、恒吉部会長に進行をお願いいたします。

恒吉部会長、よろしくお願いいたします。

・恒吉部会長

皆さま、おはようございます。

大変お忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。これから先私のほうで進行をさせていただきます。既にご案内がございましたように、本日の議題は、第 1 期事業計画の平成 30 年度の事業実施状況についての報告ということになっておりますから、このあと事務局から説明がございしますが、委員の皆さまには、後日、点検・評価を行っていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

また、第 2 期事業計画の第 5 章の地域子ども・子育て事業の提供区域についてご審議いただくとともに、量の見込みと確保の内容についての説明がございます。

限られた時間ではございますが、委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただきながら、スムーズに進行できるようご協力のほうをお願いします。

まずは、次第 2 の確認事項「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価について、事務局の方から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、本日の確認事項について説明～

・恒吉部会長

ありがとうございました。

繰り返しにもなりますが、本日は平成 30 年度分の点検・評価を行うにあたり、計画の第 4 章と第 5 章に関する内容について、それぞれ事務局の方に実施状況の報告を行ってもらい、その報告も踏まえて、各委員さんの方で持ち帰っていただいて、点検・評価をするようになります。本日の会議の場で評価・点数をつけるわけではございませんので、そのつもりでいただければと思います。

先ほど、説明いただきました次第 2 については、あくまでも確認事項ですので、このあとも先の方に進めさせていただきます。

引き続き、次第 3 報告事項(1)「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成 30 年度実施状況について、事務局の方から説明をお願いいたします。

・事務局

～事務局から、「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成 30 年度実施状況について説明～

・恒吉部会長

ありがとうございます。

第 4 章部分につきましては、資料 2 にありますように、各事業に対して各課が取り組んだ内容の報告ということでした。

それから、後半でご説明いただきました第 5 章部分が、実際に各委員の方に評価をしていただくことになります。先ほどの説明がございましたように、各委員の評価の平均点の四捨五入したものが会議としての評価となります。

評価の仕方ですが、この表には、事務局があらかじめ「△・○・◎」の自己評価を入れておりますので、その自己評価も参考にしながら、各委員の方々が持ち帰っていただきまして、0 から 5 までの評価を付けていただくということになっております。

それではただいまご報告いただきました内容について、質問をいただきたいと思いますが、たくさんございますので、まず前半説明いただきました第 4 章部分について、何か記載内容等でわかりづらいとか、何か聞いておきたいことがございましたら、ご質問いただければと思います。先ほど事前にいただきました質問に対しては、事務局の方からお答えいただきましたけれども、それ以外のところで改めて何かこの第 4 章部分につきまして、ご質問がある方はいらっしゃいませんか。

・和田委員

通し番号 38 番の児童館の運営事業ですが、実施状況の中に利用者ニーズに合わせた各種講座や事業とありますが、具体的にどのような利用者のニーズがあったか教えていただきたいなと思います。

・事務局

例えば、赤ちゃん体操など、親子で参加できるイベントを開催しています。この時期ですと、中島へキャンプに行ったりして、毎日のイベントを各児童館で企画して実施している状況です。

・和田委員

今現在、療育に通われている方にアンケートを実施したところ、相談場所が児童館にあればいいというご意見がたくさんあがってきていましたので、この利用者ニーズというところで、拾い上げ

ていただけたらと思います。

- ・恒吉部会長

今後の対応の方をよろしくお願いします。

今のところですが、児童館の利用者の数を見たところ、大半の児童館で利用者が減っているか、増えたところでも少し増えたくらいで、北条児童センターが2年連続ですごい勢いで増えているのですが、こういった要因があって増えているのかお分かりですか。

- ・事務局

直接の原因は分かりませんが、つばきの日に合わせたイベントや北条活性化の協議会のイベントに合わせて児童館が地域と一体となって開催しているということを聞いたことがあります。そのようなことも関係があるのかなとは思っています。

補足ですが、北条児童館が保護者の方から聞いた声で、図書館や遊ぶところがあることプラス駐車場が広くあるので車で行きやすいことがひとつの要因ではないかと思います。

話は逸れるかもしれませんが、29年の10月から実施した、コミュニティセンターのToiToiToiというところがあります。街の中心で北条児童センターとは反対のようなところですし、駐車場が有料なのですが、コミュニティセンターが複合施設になるという要因で、ちょっと行くとか、他の施設も利用したいということで、こちらも利用者数が多くなっています。複合施設であるとか、駐車場が広いという理由かと考えております。

- ・恒吉部会長

ありがとうございました。

あと1点、直接今日ご回答というよりは今後の要望です。通し番号51番の、「いきがい交流支援センターしみず」です。松山市としても非常に珍しい取り組みで、小学校の空き教室を利用して高齢者の方々が入るという、以前から取り組まれている事業です。空き教室を使って子どもたちと高齢者との交流があることで何かしらの効果があれば、今後小学校とか空き教室が増えてくると思いますので、その中でどう利用するかということが86番の「特色のある学校づくり事業」と関連してくるのではないかと思います。地域の教育力という言葉も使われておりますので、地域全体で子育てをすとか多世代間交流とか今すごく言われておりますので、この「いきがい交流支援センターしみず」の効果が何かあがっているのであれば、今後取り組みを見える形にしていくことで、浸透していくのかなと思います。これは今日ご回答を求めませんが、もっともっと普及してもいいような事業なのかなと思いますので、少し意識していただきたいと感じています。

第4章のところ、ほかはよろしいでしょうか。

ここからは直接評価に関係してくるところになりますが、第5章の8つの事業について、委員の皆さま方からご質問等いただきたいと思いますが、整理しやすいように、1つ1つの事業ごとに確認をしていきたいと思います。

それでは、最初の事業としての「児童クラブ運営事業」について、先ほどもご報告いただきましたけれども、委員の皆さま方から何かご質問あるいはご意見等ございませんでしょうか。

- ・堀田委員

運営委員会等関係機関が連携しながら、というところで運営委員会の構成と、どのような連携をしているのかをお聞きしたいです。

・事務局

運営委員会の構成ですが、会長さんと各委員さんで構成されておりまして、例えば、会長さんにPTA会長さんや公民館長さんもしくは町内会長さん、地域の方で役をしている方になっていただいて、それに付随して保護者の代表の方や学校の校長先生方に運営に携わっていただいているという状況です。

どのような連携をしているかということですが、学校内にある児童クラブがほとんどですので、学校の部屋を貸していただくとか、この時期ですと、プールを利用するなど保護者の方と連携して使っています。地域の方でお祭りがあった場合に出し物で、児童クラブのお子さんが地域活動に参加するような連携もしております。

・堀田委員

運営委員会というところで、校区によっては、先ほど言われた公民館長さん、町内会長さんということになると、ともすれば自分事としての意識を持たれていない方が会長さんになっている場合もあると各校区から伺うこともあります。その運営委員会の構成が適正なのか評価する仕組みはないのですか。

・事務局

運営委員会の趣旨としましては、地域のお子さんを地域で育てるという趣旨があります。その趣旨に基づいて、公民館長さんや元校長先生、教育に携わっている方が運営委員会に参加されている場合もありますので、その趣旨を活かせるような組織づくりを地域の方で考えていただいて、必要な方を委員の中に入れ込んでいくことをしております。客観的な評価というと、なかなか難しい面もありますが、市と運営委員会が連携して、どのような委員の構成が適正であるのかも検討していきたいと思います。

・恒吉部会長

児童クラブは実績が確実に増えていっておりますけれども、支援員の資質向上は当然ですが、数的にはどのような状況でしょうか。他の市町の状況を聞くと、特に長期休暇の時の対応が非常に苦慮しているというような意見も聞きますが、松山市としてはどうでしょうか。

・事務局

状況としては、長期休暇中の人員の確保は課題になっています。松山市の取り組みを申し上げますと、大学生の方がお休みというところもありまして、児童クラブは1日開いていますので、そこはマッチングするのではないかと考えております。昨年度で申し上げますと、愛媛大学の方に求人を募集する貼り紙を生協さんにさせていただいて、17人の学生を採用することができました。今年度も愛媛大学のほかに、聖カタリナ大学、東雲大学、松山大学に貼り出しをさせていただこうと思っております、そういった取り組みで長期休暇中の人材の確保ができればと考えています。以上です。

・恒吉部会長

ありがとうございます。

それでは、次に2つ目の事業「子育て短期支援事業」について、何かご質問ございますか。

評価として難しいのは、実績が増えたから良しとするのかどうかということだと思います。必要な人に必要な情報がきちんと届いているかというのが、こういった制度については1番大

事なのかなという気がします。

・堀田委員

利用された方々の情報は十分に配慮すべきこととは思いますが、具体的に今、利用されている方はこういった傾向の方が多いのかを知りたいです。

・恒吉部会長

利用にあたってどういう理由でこの制度を利用している方が 1 番多いのか、何かデータをお持ちですか。

・事務局

主に使っていただいている方の 1 番の理由は育児疲れです。続いて、お仕事の都合が多い理由となっております。

・恒吉部会長

この実績は延べ人数でしょうか。

・事務局

延べ人数です。

・恒吉部会長

実数はわかりますか。

・事務局

実人数は、30 年度は 31 人です。

・恒吉部会長

31 人の方が 425 回利用されてらっしゃるということですね。

・事務局

そうです。

・堀田委員

使っている方は育児疲れ、仕事の都合ということですが、自ら主体的に使いたいと来ているのか、それとも何らかの相談をして、こういうのを使いませんかと誘導されてなのか、入り口を教えてください。

・事務局

ご自身で使いたいということ saying いただく方もいらっしゃいますし、相談に来られた方に案内して使っていただく方の両方の方がいらっしゃいます。

・恒吉部会長

割合としては、自分のほうから申し出てこられる方が多いでしょうか。

・事務局

割合としては、ご自身で使いたいだと申し出される方が多いです。

・恒吉部会長

情報が行き届いていれば自ら言ってこられる方もおられますし、情報の周知が足りていなければ間接的に経由してくるというところがありますので、その内訳は非常に大事ではないかなと思います。短期支援事業、ほかはよろしいでしょうか。

それでは3つ目の事業で「乳児家庭全戸訪問事業」について何かご質問ございますでしょうか。

・和田委員

支援が必要と思われる母子を把握した場合、保健師に引継ぎ、保健師が訪問等の継続支援を行っていると思いますが、件数的にはどのくらい支援が必要と思われる方がいるのか教えていただけたらと思います。

・事務局

どのくらいという数は、把握できていませんが、母子保健推進委員が把握し、うつの中核症状があった場合には、早急に地区担当の保健師にご連絡いただいております。ご連絡があった場合にはすぐに保健師が対応するという形をとらせていただいております。

・和田委員

リスクがある子どもが虐待に繋がるというのがニュースであったかと思いますが、こういった事業で、保護者さんだけではなく、育ちに対してリスクがある子どもという視点を持っていただけたらと思います。

・恒吉部会長

ほか、よろしかったでしょうか。

それでは、続きまして「養育支援訪問事業その他要支援児童要保護児童等の支援に資する事業」に何か、ご質問、ご意見等ございませんか。

こちらの実績の方が伸びていっているような状況です。昨今の状況を考えますと、虐待、不登校、いじめとか重要な課題に向き合うところになってきますが、要保護児童対策地域協議会の構成メンバーはどうなっていますか。

・事務局

こちらの機関は、松山市地方法務局、愛媛県福祉総合支援センター、愛媛県警察本部、愛媛県こころとからだ健康センター、松山市福祉事務所、松山市保健所、消防局、教育委員会、医師会、愛媛県地域教育委員連合会、松山市母子会、松山市小学校長会、中学校長会、小中学校PTA連合会、私立保育園認定こども園連合会、松山市地域保育所連絡会、中予私立幼稚園連盟、松山市障がい者総合支援会、愛媛県児童福祉施設連合会、松山市民生委員協議会、その他会長が認める者、21機関で構成されています。

・恒吉部会長

ありがとうございます。

・井上委員

児童養護施設との関連はどのようになっているのでしょうか。どこまで児童相談所が出てきてくれるのでしょうか。

・事務局

児童相談所との連携に関しましては、それぞれのケースの状況によります。リスク度が高いと、児童相談所と連携を取りながら対応しますし、リスク度が上がりそうであるという状態のときにも児童相談所に常に連絡をし、こういう状況ですが今後リスク度が上がるかもわからないので支援してほしいという状況で連携をとりあっております。

・堀田委員

21 機関で構成されて連携しているということですが、どのように情報共有をされているのかが気になります。

・事務局

要保護児童対策地域協議会については、代表者会というものがあります。代表者会で年に 1 回、情報共有をしています。そこでまず情報共有をしたり、代表者に現状等を知っていただいたり、こういう連携をとっていきたいという話を共有しています。その後、実務者会議や今年度から実施する進行管理会議や、個別ケース検討会議などで構成機関と連携をとっている状況になっております。

・堀田委員

実際に会われての会議ということで、IT を使うなど松山はまだされていないのですか。

・事務局

今は連携の中では電話での連絡であったりとか、直接その機関に行って連携をとりあったりという状況です。

・堀田委員

スピードに対して問題はないのでしょうか。スピード感はどうなのか気になります。

・恒吉部会長

こういった問題については、スピード感が求められるところがあるのですが、どうでしょう。

・事務局

会議だけで進めていくのではなく、その事案が起きたその場その場のタイミングで電話連携をとりあって、今のところ不便という状況にはなっていません。

・堀田委員

ありがとうございます。

・恒吉部会長

ほか、よろしかったでしょうか。

それでは次の「地域子育て支援拠点事業」について、何かご質問等ございますか。
ないようですので、次に「病児・病後児保育事業」について何かご質問ございますか。

・和田委員

保育園、幼稚園に在籍している子どもさんに関しては、病児保育に入れていただくのですが、松山市内の児童発達支援センターに通っている子どもたちは断られるケースもあります。発達に遅れや、偏りがある子の受け入れ状況は病児保育の中でどのようになっているかを教えていただけたらと思います。

・事務局

支援の必要な子がどれくらい、病児保育を使っているかというところは把握できておりません。申し訳ありません。

・恒吉部会長

そういった子どもが断られるケースがあるという現状というわけですね。

・和田委員

はい。

・事務局

需要があったときにご連絡いただけたら、こちらから事業機関にどういった理由でという詳しいことを聞いて、指導ができるようなことがあれば指導させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

・和田委員

利用できませんという制限は特にないのですか。

・事務局

はい。病気で家庭保育できないというときに、この病児保育がありますのでその制限は特にありません。

・和田委員

ありがとうございます。

・恒吉部会長

そういう現状があるというのは、事務局のほうでも把握をお願いいたします。

・井上委員

この費用は、東温市、松前町、松山市、2,000 円で統一したままでしょうか。

・事務局

東温市は 2,000 円だったかと思いますが、松前町は 1,500 円の利用料をもらっています。

・井上委員
松山市だけ 2,000 円でしょうか。

・事務局
松山が 2,000 円、東温市 2,000 円、松前町が 1,500 円です。

・井上委員
これは、どこに行ってもいいのでしょうか。親の仕事の都合で例えば松前町で利用したら 1,500 円になるのでしょうか。

・事務局
はい、そうです。

・井上委員
ありがとうございます。

・恒吉部会長
それでは続きまして「ファミリー・サポート・センター事業」について質問がございますでしょうか。

・堀田委員
現在、利用実績がパーセンテージとしては低いのですが、その理由は、調査・研究を引き続きと書いていますが、具体的にニーズを図るとか、なぜこのような数字か検証されているかお聞きしたいです。

・恒吉部会長
この実績値が下がっているところをどう分析されていらっしゃるか。どのように捉えられていらっしゃるかというところでご意見いただけたらと思います。

・事務局
減った理由というのが、児童クラブやほかの子育て支援のサービスが充実したことによるものかと考えております。

・恒吉部会長
これ以外のサービスが充実してきているのではないかということでしょうか。

・堀田委員
数字で見えないところを探る必要性が思っています。子育て支援は数字では図りづらいので、そのニーズや現場の声を聞くということをこれに限らず、もう少ししっかりしないと評価がしづらいというのはあります。数字が増えたから「5」とか、減ったから「2」というのは評価がしづらいので、これをやったことで、どういう効果があったかとか、何が理由なのかということをもう少し分析されていないと、なかなか評価がしづらいと思います。

・事務局

利用者の声や、そういった理由をもう少し深く分析する必要を感じております。ご意見ありがとうございました。

・井上委員

1つ質問です。このファミサポの場合は、提供者と利用者の面接みたいなのはあるのでしょうか。コムズでないほうは提供者と被提供者とが先に面接して、気が合うかどうかということを前提にして受けるということを聞いたのですが、それはあるのでしょうか。

・事務局

ファミリー・サポート・センター事業については提供会員と依頼会員が実際に会って、マッチングして活動ということになりますので、実際に会ってからの活動になっております。

・井上委員

その前段階はないのでしょうか。私が聞いたのは、シルバーでやっている事業の場合は、提供会員と被提供会員とがあらかじめ面接して、この方ならやってもらえる、この子どもさんならできる、ということがあったと聞きました。

・恒吉部会長

イクじい・ばあばママサービスのことでしょうか。

・井上委員

はい。最初の会う、会わないというのが大事かなと思っています。コムズは最初に面接して会うか、会わないかというのはないのでしょうか。

・事務局

会ってからの活動になっています。

・井上委員

わかりました。そういうのがあれば、後々続くかと思っております。

・恒吉部会長

シルバー人材センターの「イクじい・ばあばサービス」、社協がやっている「地域福祉サービス事業」などファミサポと類似の事業があります。このファミサポの実績が減っている分、「イクじい・ばあば」とか「地域福祉サービス事業」が伸びているのでしょうか。伸びているとしたら、なぜそちらの事業へ移動したのか、使い勝手の問題も見えてくるのではないかと思いますので、他の施策との比較とか状況とかを参考までに把握されていくと、このシステムの問題点も見えてくるのかもしれないですね。その分析もお願いしたいと思います。

ほか、何かありますか。

・山下委員

子育て支援の充実や児童クラブの利用など、そういったサポートが充実してきたから減っている

ということだったのですが、もっと小さい乳幼児をみるためにその他の家事の代行をお願いしたいというニーズを私は聞いたことがあります。例えば家事の代行を頼もうと思っても、なかなか見つからない、1日中泣いている赤ちゃんを抱えて、周りに頼りになる人もいなくてという声を聞いたことがあります。このファミリー・サポート・センター事業の中に、小さな赤ちゃん抱えて、下の子と上の子と、とても大変になって、鬱になる前にそういうサポートをしてあげられる何かっていうのをこの中に盛り込んでいただけたら利用率っていうのは、上がるのではないかと思います。

・恒吉部会長

要望になるかとは思いますが、何かコメントはございますでしょうか。

・事務局

家事の援助ということで、ファミリー・サポート・センターは家事は対象になっていません。そういった場合は「イクじい・ばあばママサービス」で家事をしていただくことができますので、そちらの案内をしています。乳幼児のお子さんがある方の声を拾い上げられておりませんので、そのあたりも含めて検討していきたいと考えております。

・恒吉部会長

今後の検討課題ということでよろしくお願いします。

それでは、最後「妊婦一般健康診査事業」この事業について、委員の皆さまから何かご質問ございますか。

・友川委員

4年目の実績値が86.6%になっています。90%以下は△かと思って読んでいたのですが、ここだけ○というのはどう数字を理解したらいいのか教えていただけたらと思います。

・恒吉部会長

自己評価のところですね。

・事務局

失礼いたしました。評価の方法で90%未満は△ということなので、これは自己評価のつけ間違いということになります。皆さんに本日中に資料をお送りしますが、その際には訂正してお送りいたします。

・恒吉部会長

4年目のところは△に訂正をお願いいたします。

ほか、ございますか。ご意見ややりとりがございましたが、そういったことも踏まえて評価していただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

ほかに質問がないようでしたら、次第4 審議事項に入ります。

前回の部会で事務局から説明がありましたが、本日は、第2期事業計画の第5章 子ども・子育て支援の新たな取り組み部分の地域子育て支援事業の提供区域について、ご審議いただきます。このことについて、事務局から説明をお願いします。

～事務局から、資料4に基づき提供区域について説明～

・恒吉部会長

ただいま説明がございましたように第 1 期からの継続的な評価が必要であるということから、第 1 期同様、市内全域に設定してはどうかという事務局の案として示されていますが、この件につきまして何かご異議はございますでしょうか。

～異議なし～

・恒吉部会長

特にご異議がないようですので、ご提案いただきました市内全域という事務局案を会議案とさせていただきます。

続きまして次第の 5 の説明事項に入ります。

第 2 期事業計画の第 5 章子ども・子育て支援の新たな取り組み部分の地域子育て支援事業の量の見込みと確保の内容について、事務局から説明をお願いします

～事務局から、資料 5 に基づき量の見込みと確保の内容について説明～

・恒吉部会長

ただいま説明がありましたが、ニーズの調査結果、昨年度までの実績、子どもの人口減少率を考慮して量の見込みと確保の内容を算出したという説明がございました。説明事項ということですので、委員の皆さまには後日ご意見をいただき、次回の部会で審議するということになりますが、それぞれの事業の見込み等について、何かこの場で聞きたいことがございましたら、挙手をお願いしたいと思います。何かございますでしょうか。

・堀田委員

子育て短期支援事業とファミリー・サポート・センター事業の今△がついている事業が、やはり第 2 期では数値を下げているのですが、働きたいという人が増えている中、このニーズも増えていくのではないかなと感じます。これからのニーズで言うと、ここにずれが感じられます。今までニーズが低かったというところも、単に低かったのか、告知不足で知られずに使われていないというところも踏まえてということでしたらいいのですが、少し違和感を感じます。

・事務局

昨年度行いましたニーズ調査について、ファミリー・サポート・センターと子育て短期支援事業の周知度は 5 年前に比べてだいぶ上がってきて、知っている方は増えているという事実はあるのですが、それに対してニーズ量や実績は減っているということは考慮しないといけないと思います。

利用者の声は一部しか拾えていないのですが、ファミリー・サポート・センターは提供会員の自宅で預けることに抵抗があるとか、子育て短期支援事業は児童養護施設に預けるのに抵抗があるという声を一部聞いていますので利用しない理由も把握しながらすすめていきたいなと感じております。

・友川委員

ニーズ量の計り方について、利用されていない方のお声を聞くのも 1 つですが、今利用されている方の諸条件をきちんと調べていただくと、その諸条件に当てはまっている方への周知がどれくら

い適切にできているかで本当にニーズがあるのかないのかというのも計れるかと思いました。今利用していない人の使わない理由よりも、今使っている人がどういう条件の人たち、例えばお子さんの年齢は何歳で、お母さんの職業は何々でというのもあった上で、同じ層が同じ情報を投げてでも使わないのか使うのかっていうのも、今後ニーズと実績を調整していくときに、プラスのほうから計るのも分析の時にしていただけると意味があると思います。

・事務局

ありがとうございました。利用していただいた方のお声や属性も調べつつ、事務局のほうでも把握しておきたいと思います。

・恒吉部会長

分析が、計画には大きな影響を与えますし、長期計画ですので、計画と現状とが大きくかい離するようであれば、当然途中で計画の見直しが必要になってきますので、今いただいたご意見も事務局でしっかりと意識づけいただけたらと思います。

ほかはございませんか。

先ほど申しましたように、後日この件について資料をご覧いただけたらと思いますので、後日見込み量につきましても何かご意見がございましたら出していただけたらと思います。

それでは以上で、本日準備しておりました議事は全て終了しましたが、全体を通して何か委員の皆さま方からご意見、ご質問ございますか。

特にないようでしたら、事務局のほうから何か事務連絡等ございましたらお願いします。

～事務局から、連絡事項等について、説明～

・恒吉部会長

それでは、以上をもちまして、本日の全ての会議を終了します。

委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しいところ限られた時間での評価をお願いいたしますがよろしくお願いいたします。

それでは、事務局のほうにお返ししたいと思います。

・事務局

恒吉部会長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「令和元年度第2回松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会」を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、長時間に渡る審議にも関わらず、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

お気をつけてお帰りください。

(了)